

たかす議会だより

孔雀草

(町花「マリーゴールド」の和名) 題字 宮島歩美

第4回定例会

意見書ほか

2

8名が一般質問

中村議員・日下議員・斉藤議員・青野議員
舟根議員・大石議員・片山議員・植西議員

4

議員定数等調査特別委員会報告

議員の定数・報酬について

12

合同所管事務調査

富良野市・芽室町

13

みなさまからの声

次回定例会のお知らせ

15

No. 169

平成29年12月定例会号

発行:北海道鷹栖町議会
編集:広報広聴常任委員会

2018年2月5日 発行



はたちのつどい♪ 65名の新成人がメロディーホールでお祝い。(1月7日)

～町民の皆さんと議会をつなぐ議会報を目指して～

第4回 定例会

12月17～18日

第4回定例会は12月17日からの2日間の会期をもって開催しました。8名の一般質問（4～11ページ）のほかに報告、条例などを審議し、原案のとおり可決しました。

また、鷹栖町議会議員定数等調査特別委員会から報告がありました。（12ページ）

議会からは1件の意見書が出され、各関係機関に提出しました。

予定通り、12月18日に閉会しました。

日曜議会を開催



初の日曜日の開催

■休日議会を開催しました

休日に引き続き、第4回定例会は休日議会として、一般質問を日曜日に行いました。

当日は17名の方に議会の傍聴にお越しいただきました。ありがとうございます。

これからも多くの方に傍聴に来ていただけるよう、参加しやすい環境づくりと議会の活性化に努めていきたいと思えます。

傍聴された方からアンケートのご協力をいただきました。

議員の質問、行政の答弁は分かりやすいとお答えいただきました。その他の意見では、「休日議会の開催を今後も続けてほしい」「声があまり大きくなかったのもっと音量を上げてほしい」とのご意見がありました。

今回いただいたご意見を参考に、今後の議会に活かしていきます。



■民事調停の申立てに係る専決処分の報告について



平成29年度の予算が補正されました。主なものは次のとおりです。

- 【一般会計】
- 給与改定等に伴う人件費の増額
- インターネット無線電波アンテナ設置補助金の追加
- マイナンバー法改正に伴うシステム改修費の追加
- ふるさと納税の増加に伴う積立金および経費の追加
- 住宅用太陽光発電システム設置補助金1件分の追加
- フィットネス倶楽部「コレカラ」に設置する運動器具の設置補助金の追加



- サンホールはびねす給水装置改修費用の追加
- 第2子以降の子育て支援施設利用料助成金の追加
- 放課後児童支援員等の処遇を改善する補助金の追加
- 町外保育園等に通園する園児の増加に伴う委託料の追加
- 認定こども園の施設型給付費負担金の追加
- 合併処理浄化槽の申込増に伴う設置補助金の追加
- 妊婦健診、予防接種受診者数増加に伴う費用の追加

29年度以降「産地交付金」の満額交付などを求める要望意見書を提出

	補正額	補正前の額	補正後の額
一 般	1億5787万7000円	55億9240万4000円	57億5028万1000円
内 訳	総務費	8905万8000円	職員人件費、ふるさとまちづくり応援寄附事業ほか
	民生費	5770万9000円	障害福祉サービス給付事業、認定こども園施設型給付費等支援事業ほか
	衛生費	799万7000円	予防接種事業、一般廃棄物焼却等処理事業ほか
	農林費	230万6000円	新規就農者・農業後継者確保対策事業ほか
	商工費	50万円	商工振興事業
	土木費	△290万円	公共下水道会計繰出事業
	教育費	320万7000円	体育団体育成支援事業、総合体育館管理事業ほか
国民健康保険	△274万7000円	9億5722万8000円	9億5448万1000円
下水道	△290万円	1億9865万7000円	1億9575万7000円
水道事業	△89万6000円	2億9934万4000円	2億9844万8000円

- 家庭系可燃ごみの増加に伴う処理委託料の追加
- 就農研修など該当者増加に伴う補助金の追加
- 銃猟免許取得者の増加に伴う補助金の追加
- 町内の飲食店の改修費用補助金の追加



サンホールはびねすの給水装置

- スポーツ団体等の全道全国大会出場者増加見込みによる費用の追加
- 障がい者福祉サービスにかかわる費用の追加
- 防犯パトロール車両の整備による補助金の追加
- 町内運動施設等の修繕費用の追加
- 【国民健康保険（事業勘定）特別会計】
- 都道府県単位化に伴う会議等の増加による旅費の追加等
- 【公共下水道事業特別会計および水道事業会計】
- 職員の人事異動及び給与条例改正による人件費の増減



条例等

条例等の改正

■鷹栖町の体育施設が利用しやすくなります

総合体育館、B & G海洋センター、鷹栖町総合スポーツ公園及び北野運動公園の管理に指定管理者制度を導入します。安全で気軽に利用できる環境づくりを目指します。事業の実施期間は平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間です。

その他の改正された条例は以下のとおりです。

- 旭川市との定住自立圏形成協定の一部を変更
- 上川中部介護認定審査会共同設置規約の変更
- 上川中部障害支援区分審査会共同設置規約の変更
- 鷹栖町企業立地の促進等による地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例



意見書

国政に物申す！

■29年度以降「産地交付金」の満額交付などを求める要望意見書を提出しました。

提出先 衆・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

提出議員 中家 彰
賛成議員 舟根 輝好



指定管理者制度の導入が予定されるB & G海洋センター

一般質問

一般質問とは定例会において、各議員が住民を代表して、行財政全般にわたり町当局の考え方や、疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

丸山句碑の森の有効活用について

ターゲットを絞った文化的観光資源に（町長）

丸山句碑の森は風倒木の処理、間伐、下刈作業

散策路にウッドチップを敷くなど整備が着々と進んでいる。180余基の建立者の親族知人友人はもとより、町民の皆さんも安心して句碑の森を訪れることができようになった。今後より一層整備されていく丸山句碑の森の自然豊かな文化的資源、観光的資源を有効活用することは本町の活性化につながると思われる。

社会教育、学校教育の教材としての有効活用の方性など具体的な考えは。

答弁（教育長）

丸山句碑

の森は丸山自然道路保存会（現丸山句碑の森実行委員会）により、保存整備し、活用されていますが、会員数の減少や高齢化で活動が縮小している状態です。

小中学校の現地での体験学習の実施は困難ですが、キャンプ、ワークシヨップで子どもたちを多く連れて行きたいと考えています。

今後、社会教育団体のなかまど大学、女性サロン、各老人会、各公民館等と打ち合わせて句碑の森の活用を進めます。

質問

先日夏井いつき句会ライブがあり、鷹栖高校生をはじめ400人以上の人が集まり大変盛況だった。高校生の作品が高く評価され多く入選していた。高校生の潜在能力は大変素晴らしいものだ。

句碑の森という他町村にない素晴らしい環境を最大限利用し、将来俳句甲子園に挑戦できる特色のある学校づくりこそが高校存続のためになるのでは。

答弁（教育長）

平成30年

度も句会ライブを計画しています。夏井先生には句碑の森を散策してもらい、いろいろアドバイスをいただき、積極的に生徒たちとかかわっていただきたいと考えています。

平成30年度は、夏井先生の予定がつかず中止となりました。今後も開催に向けて計画を進めます。

質問

「たかすタウンガイド」に載っている写真の句碑は見方によって不快とされる語が含まれている。ふさわしい句碑と差し替え

ては。

答弁（町長）

今後は、自

然の条件と句碑がマッチした新しいところをパンフ

レット、ホームページ等に掲載します。

質問

本町の有力な観光資源の一つと考えるが、観光分野での有効活用の方性、また具体的な考えは。

答弁（町長）

一般社団法人大雪カムイミンタラDMOが設立されました。DMO設立にあたり、事前に各地域の観光資源等の調査が行われ、本町では、丸山句碑の森のほか、パレットヒルズやパークゴルフ場などを挙げております。

来年度作成予定の町の観光協会のホームページでもPRするなど、観光協会と連携して活用します。



中村 公憲 議員



句碑の森

※DMOとは観光物件、自然、食など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと。

財務書類の整備の進捗状況について

28年度から移行作業。29年度末に公表（町長）



春・秋に開催のまちづくり懇談会で事業の進捗状況を説明

29年度から公会計制度を導入した。この会計制度は、「複式簿記」とも言い、この制度で作成される財務書類から町の財務現状が把握できる。また、正確な情報を町民に公表することや分かりやすく行財政の説明が可能とされる。
年度途中だが財務書類等の整備進捗状況と課題があれば伺いたい。

答弁 平成28年度決算を基に公会計への移行作業を進めています。29年度末には公会計財務諸表を公表する予定です。

質問 この制度で作成される財務書類により現状の把握や、情報公表等が可能になり、行政運営の効率化が図られる。

しかし、公会計簿記は公会計士でも見取りが難しいといわれている。町民に対して簿記に関する啓発が必要では。

答弁 町の財政状況は、ホームページと広報たかすで公表しています。新地方公会計を通じて得られた財務情報の活用等を含め、分かりやすい財務状況の公表について、他市町村の事例等を参考に研究します。

事務事業評価制度導入の進捗状況は

個別帳票を用いて、予算編成に反映（町長）

質問 事務事業評価制度は、財政赤字の拡大、住民に対する説明責任の高まりを背景に財政改革のツールとして位置付けられている。行財政の効率化・適正化を図るため公会計制度と組み合わせた事務事業評価の活用が重要とされている。

町教育委員会が導入しているが、進捗状況と課題を伺いたい。

答弁 鷹栖町第7次総合振興計画では、毎年度個別帳票を用いて事業の点検・整理を行い、予算編成に反映させています。

次期総合振興計画では、施策の目的や方向性を定め、さらなる評価・点検方法の強化を図るよう目標設定や評価手法の検討を進めます。



日下 義朗 議員

小学校に英語補助教員の配置を

補助教員は配置せず、研修やICT機器を活用する(教育長)



A L T 授業風景

社会産業の情報化・グローバル化など急激な変化の中、学習指導要領が改訂された。平成32年から全面実施だが、平成30年4月から先行実施される。その中の大きなものに小学校英語がある。

小学校で本格的に英語を教える時代がやってきた。しかし外国人には到底通用しない日本語的な英語を学ぶ子どもたちは不幸だ。ネイティブな発音ができる英語に堪能な補助教員を加配すべきと考えるが、教育長の考えは。

答弁 本町においては週1回A L T(外国語指導助手)が両小学校を訪問して英語活動を行っています。現時点で補助教員の配置については考えておらず、A L Tと学級担任で対応する計画です。

教員の外国語科指導研修やICT(情報通信技術)機器の活用を一層推進して英語教育の環境整備に努めます。

質問

鷹栖町の子どもの文化、スポーツ面での活躍は目を見張る。子どもたちが全国や世界へ行くためにも自分の力を発揮するためにも英語の力は必要だ。町教育のトップとして英語教育にどれくらい本気で取り組む気持ちがあるのか。

答弁 この2年間、平成30年、31年を見据えて、スポーツと同じように英語力を上げるように教育委員会も一生懸命頑張ってきたと思います。

質問

教員の労働が今非常に過酷な状況にある。教科に加え児童会や各種行事、

その上英語の授業が増え、教員の負担はますます増える一方だ。

この現実を、どのように思われるのか。

答弁 先生たちは子どもたちのために勤務時間を超過して夜遅くまで大変熱心に取り組んでくれています。教育委員会としても学習支援員や特別支援員を引き続き配置することによって教員の業務支援を図るとともに、今年度からストレスチェックの実施など教員の健康管理に十分留意していきます。

質問

教員の働き方改革について、英語の教員を1名増やすことで、英語教育も先生の労働問題も両方解決できるのではないか。予算の都合もあるとは思いますが、教育長の考えは。

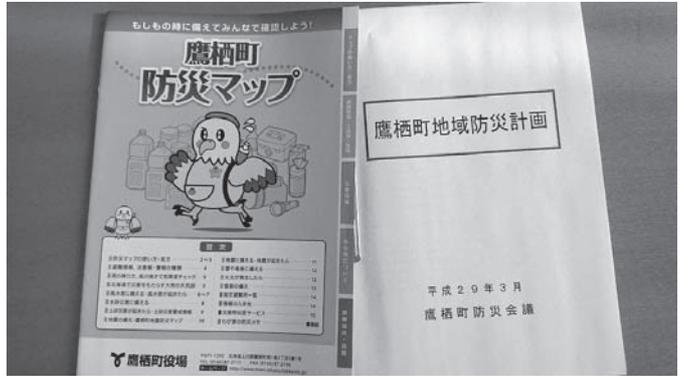
答弁 校長会でも60歳以上の支援員に何とか学校に来てもらえないかとの話も出ています。2年の移行期間の間で、学校で必要となれば、今後検討していきたいと思えます。



斉藤 哲子 議員

緊急情報の伝達方法は万全か

災害情報システムの早期整備に取り組む（町長）



平成27年9月に作成した防災マップ

全国瞬時警報システム（Jアラート）は、対処に時間的余裕がない大規模な自然災害や弾道ミサイル攻撃などの情報を、国から直接住民まで瞬時に伝達するシステムで、本町では平成24年4月から運用している。

答弁 国から発信された緊急情報を役場に設置している受信機で受信し、防災情報メールに自動転送して

登録された方へ周知しています。また、携帯電話各社でのJアラートやその他情報網による複数の伝達手段により情報の取得が可能です。

これらの手段により、町で整備しているJアラートシステムは機能していたと考えています。ただし、本町では全戸に音声で周知する屋外拡声器や戸別受信機がありません。サンホールはびねすの屋外スピーカーカーでの伝達のみとなっています。

質問 本町の防災計画・防災のしおりに、災害発生時の情報伝達として広報車、地区町内会長、農事組合長、FAX通信、エリアメール、テレビ、ラジオ等が記載されているが、最近では人命に関わる災害も発生しているため、町民に対して正確な情報を速やかに、確実に伝達する新たな方策が必要では。

答弁 災害等に伴う地域住民への周知方法は、町の防災メールやホームページなどによる周知のほかに、広報車での広報活動、更に個別訪問を行い地域住民の危険に対して適切な行動ができるよう情報伝達をしています。

しかし、緊急時の住民周知については様々な手段を使って対応することが重要であり、特に高齢者世帯や独居老人世帯などの携帯電話を持たない方への周知方法が課題となっています。今までの情報伝達手段のほか、他町村の状況も参考に平成30年度に新たに情報発信手段の調査を進め、災害情報システムの早期整備に努力します。

質問 学校施設においても、火災避難訓練や災害対策等、児童生徒の安全に対する対策には取組んでいるが、大規模災害に対して危機管理システムは機能しているのか。

答弁（教育長） 地震や暴風雪などの自然災害時の対応については、文部科学省の危機管理マニュアルをベースとして、学校の独自の危機管理マニュアルを作成し、事案に合わせた行動指示をしています。Jアラートの対応については、児童生徒、保護者に文書で伝えるとともに、屋外にいる場合は地域住民に声掛けをお願いしています。

あわせて、各学校の危機管理マニュアルの追加や見直しを随時行っています。



青野 敏 議員

農地履歴の作成を

農地台帳の整理が急務であり、速やかに対応する

(農業委員会会長)



所有者、農地整備をした時期、費用負担者などの経緯を明確にする農地履歴は特に農地あっせんに重要ではないか。

答弁 農地利用の集積、集約化などの推進は、農業委員会の必須業務であり、農地のあっせん業務はより重要な業務になっていきます。平成25年から29年現時点のあっせん申出件数は247件を数えます。

農 業委員会の制度が改正され、町長の任命制に変更になり、2名の女性委員を含む14名の委員で業務をしている。農地あっせんの際、農地情報の提示が少ないため、問題があるのではないかと感じている。

過去の経緯を明確にする農地履歴（農地カルテ）を作成することで権利譲渡がスムーズに進むのではないかと。北野地区国営農地基盤整備事業などが実施されている今、この作業を実施すべき時期である。

質問 地権者の同意を前提に農地台帳の開示は可能か。

答弁 農地台帳は、農地所有者の個人情報が含まれるため開示はできませんが、所有者または関係者からの書面による承諾、委任を得る事で閲覧は可能です。

質問 農地利用調整組合（農地の賃貸に関する組織）との情報共有は可能か。

答弁 書面による承諾、委任があれば情報の共有化は可能です。

質問 農地台帳の整備に関して、どこまで情報を整理するのか。

答弁 農地台帳の整備範囲は、法律上で定められています。それをベースに他の情報を加え電算処理し管理していく考えです。

質問 農地台帳の整備期間は、いつまでか。

答弁 期間を示すのは難しいが、スピード感を持って対応します。活用できる情報を集約し農地台帳の充実を図ります。

質問 基準農地を設定する必要があると考える。面積、条件などを明確にした農地の評価基準の設定がよい良い集積、多団地解消を進め、農業の効率化を図る一助になり、農業経営の有益な情報と思われる。

答弁 設定方法の調査、設定による効果や影響などを研究し設定に向け検討していく考えです。

質問 基準農地の評価額設定の実施は可能か。

まずは、農地台帳の整理が必要不可欠で、計画的かつスピード感を持って対応していきます。

質問 基準農地の評価額の設定は北野地区の国営事業であるような当位性（リンク付け）があるが、どのような評価方法を考えているのか。

答弁 土地の評価は実勢価格、公示価格、相続の評価額、固定資産評価額などがあり、いろいろな観点で評価額などを決めている状況です。北野地区の国営で実施している当位性についても研究し、取り入れられる要素に関しては、バランスを考慮し検討していく考えです。



舟根 輝好 議員

フィットネス倶楽部「コレカラ」の交通弱者対策を

地域性を考慮しての送迎を進めている（町長）

平 成29年5月から運用を開始したフィットネス倶楽部「コレカラ」には、本格的なフィットネスマシンが設置されている。

さつき会の理学療法士からの専門的な助言により、トレーニングで高齢になっても筋力を維持し、介護予防にもつながる。

60歳以上の町民が対象（40歳以上の町民は土曜日のみ対象）だが、多くの町民が利用するには交通手段を考える必要があると思うが。

答弁 中央、北斗、北成地区の方は、6月から毎月曜日に町営バスと福祉バスを活用して送迎しています。また、鷹栖地区は平成30年1月から毎週木曜日に実施します。

「コレカラ」は、一度に利用できる人数に限りがあり、さつき会と時間帯を調整しながら、送迎を実施しています。

「サンホールはびねす」でも4つの介護予防教室を実施しており、町全体で介

護予防に取り組みます。

質問 鷹栖地区住民の集

合場所が「はびねす」だけでは、狭い範囲の人だけが対象になるのでは。さらに北野地区への対応は。

答弁 足腰が悪くて転倒の危険があるような方は、個別対応しますので、健康福祉課に相談してください。北野地区は道北バスの路線問題もあり今後検討していきます。



利用が好調なフィットネス倶楽部「コレカラ」

国保の都道府県単位化に伴う影響は

個別帳票を用いて、予算編成に反映（町長）

平 成30年4月から市町村の国民健康保険（国保）は、財政運営を都道府県単位で行うことになる。

都道府県が各市町村の納付金と標準保険料率を決定し、市町村はこれを基に保険料を決めて徴収するため、保険料の値上げにつながるかと危惧されているが。

答弁 都道府県単位化は、被保険者の負担の公平化を進め、医療費を削減、法定外繰入れの解消が目的です。激変緩和措置により1人当たりの保険料はすぐには大きく変わりません。

しかし、保険税を全道で統一していくので、全道平

均より所得が高く、給付費が少ない本町では、暫時増額されることが懸念されます。

保険者努力支援制度も導入されるので、ポイントを高く維持することで大幅な負担増とならないように努めます。

質問 町民への周知をどのように行っていくのか。

答弁 広報への折り込みや国保被保険者の方には保険証の更新のときに行います。

なお税率改正については、例年どおり6月に周知します。



大石 隆 議員

制服などのリサイクルができないか

可能性を検討していく（教育長）



社会福祉協議会が行っているスキーのリサイクル

質問 いじめに対する普段の目配りや情報収集などの対応は。

答弁 学校、地域、関係機関とも連携し、早期発見早期対応のための確認や見守りを行っています。

質問 スマホの普及率は小学生では今のところ低いが、中学生になると全国並みとなる。トラブル防止のため、どのような対処を考えているか。

答弁 また現在行っている講演会などでは不十分との声もある。意見の聞き取りも必要では。

質問 危険性やルール作りについて啓発を行っています。学校とも連携し、適正に対応していきます。アンケート調査で聞き取りしていますが、内容については検討していきます。

質問 社会福祉協議会を通して行われているスキーのリサイクルが好評だと聞く。自転車や制服などの学用品のリサイクルも実現できないか。

答弁 現状でも個人的なやりとりは行われています。社会福祉協議会やPTA連合会などで実施してもらえないか、可能性を検討していきます。

質問 中学校制服の費用は無視できない金額になる。公正取引委員会でも入札制度の導入や価格交渉などを提言する方針が出た。管内の制服を統一して価

格を下げた例もある。そのような提言を近隣町村に発信してみてもは。

答弁 それぞれの町の現状や歴史から考えて、簡単に進む話ではないと考えます。まずは負担を抑える方法を学校と研究します。

質問 価格抑制だけでなく、リサイクルの幅が広がることも期待できる。今すぐは無理でも機会をうかがっていく考えは。

答弁 公的な形ではなくても、教育長部会などの中で、皆がどう考えているか話をしていきたいと思えます。

鷹 栖町の児童・生徒の学力は高い。学力向上策として挙げられている「習熟度別指導等」「学習機会の設定」「生活習慣見直し運動」の効果についての評価は。

答弁 3つの学力向上策が相乗効果を生みよい結果を出しています。

質問 今後、学力を維持し、さらに向上させる施策は。

答弁 3つの施策の他、学校の教育環境の整備や教職員の研修への助成、学習機会の拡充や読書活動の推進を通し、学力向上を進めます。

片山 兵衛 議員

三大疾病の予防対策は

特定健診の受診率の向上に努める（町長）

町民の急性心筋梗塞での死亡率は、全国比で男性が3倍、女性が1・5倍であり、心疾患、糖尿病、

高血圧症で入院する方が全道の中でも高い位置にある。

急性心筋梗塞は、若い頃から生活習慣の影響が蓄積されて加齢とともに症状が出てくる。これらの病気を予防する取り組みについての考えは。

答弁 特定健診の項目を増やして充実を図るとともに、保健師が未受診者を訪問して受診勧奨をしたり、節目の年齢を無料クーポンの対象としたりするなど、受診率の向上に努めています。

質問 特定健診の受診率が40%台で、半数以上の方が受診していない。町内のいろいろな会合の後に健康に関する話を聞くことができなにか。

答弁 保健推進員を対象に、心筋梗塞の予防をテーマとして講演会を開催し、地域や家庭への周知を促す取り組みを進めています。

また、健診会場や各種イベント会場でも健康づくりの普及啓発に努めています。

若い年代からの予防も重要なので、教育委員会やPTAの講演会や研修会に赴き、生活習慣病の重症化予防について説明しています。

質問 米を中心とした日本型食生活が病気になるににくいといわれているが、食に関する取り組みについては。

答弁 食も非常に重要なことなので、「地区けんこーざ」や「栄養運動教室」を開催していきます。



6月に行われた特定健診

赤ちゃん先生プログラムの導入は
興味を示された方の応援をしていきたい（町長）

質問 NPO法人ママの働き方応援隊が企画している赤ちゃん先生プログラムを実施してはどうか。

利用している方の協力をいただいで行っています。さらなる活動が広がることを期待しています。

答弁（町長） 鷹栖町でも「デイサービスセンターはびねす」で、赤ちゃん先生プロジェクトの活動が行われ、高齢者たちの表情が普段に比べて明るく輝いており、満足のいく内容だったと伺っています。

今後子育て中のお母さんに情報提供しながら、興味を示される方の応援をしていきたいと思えます。

平成19年度から中学校の家庭科の授業の一環として、赤ちゃん抱っここの取り組みを、子育て支援センターを

答弁（教育長） 小中学校向けプログラムは、生まれてきたことの奇跡、自身自身の命の偉大さを学ぶことを目的としています。小中学校とも相談しながら取り組みを考えていきます。



植西 辰義 議員

議員定数・報酬は 現状維持とすることを報告

平成27年に鷹栖町議会議員定数等調査特別委員会を設置し、協議をした結果、次のとおり報告されました。

■委員会意見

- ①議員定数は現状の12名とすることが適当と決定。
- ②議員報酬については現状維持とする。

■付帯意見

- 定数については、1名減とする意見もあった。今後は、社会情勢の変化や多様な意見に応じて議員定数の削減を検討すべき。
- 議会運営を考えると、定数を削減することは議論・討議が減り民意の反映や執行機関の監視機能の低下を招く。
- 報酬については、今後も検討する必要がある。

協議を進める中で、多くの意見がありましたので、主な意見をご紹介します。

■議員定数について

定数を削減する

- 定数は12名だが、現状は11名で運営していることを考えると、12名でならない理由はない。町民の意見も考慮し、1名減とするべき。
- 定数を減らすのであれば、他の公職を受けないことの検討も必要になる。

定数を現状維持する

- 議会が果たすべき役割は、政策決定や行財政運営を監視することである。無投票当選と定数削減は別に考えるべき。
- 本会議での議論・討論や3常任委員会の構成を考えると現状12名の定数は

必要最低限度の人数である。

- 定例会・臨時会のほか、常任委員会など議会の活動内容が理解されていない。議会の運営を見える化するなど、さらなる議会改革に取り組んでいくべき。

■議員報酬について

- 議員の定員割れや高齢化の傾向が全国的に進んでいる。若年者が立候補をできる環境を作るためには報酬の増額が必要だ。
- 議員を専業で考えると報酬が低く、生活が不安定になる。兼業で考えると現在の議会日程では会社員が立候補する環境となっていない。夜間や休日に会議を行うことも検討が必要ではないか。

調査の経過

- H27.12.11 鷹栖町第4回定例会で特別委員会の設置を議決
- H28.3.10～H29.11.27 委員会協議（6回）
- H29.7.28 北海道町村議会議長会で研修
- H29.8.7 議会についてのアンケートを実施
- H29.8.18 議員全員が意向調査票を提出

今後について・・・

40名の方にアンケートにご協力いただき、その結果も参考にしながら、今回このような報告となりました。社会情勢の変化や多様な意見に応じて議員定数・報酬について今後も検討を続けていきます。町民の皆さまからのご意見をお待ちしております。

総務文教・経済福祉 常任委員会合同所管事務調査

平成 29 年 10 月 10 日（水）～ 11 日（木）

今回の所管事務調査では議会改革に関わる事例も学ぶことから合同で開催しました。2日間とも全議員が参加しました。学んできたことを今後活かしていきます。

お客様目線での広域観光づくり

富良野市 商工会議所

北海道のほぼ中央にあり、富良野盆地の中心都市。面積 600.71 平方キロメートル。
人口 22,423 人（平成 29 年 3 月末現在）

鷹栖町でも進めている広域での観光づくりを調査。以前から観光地だった印象がありますが、観光地として作り上げるための努力を重ねてきたことがお話しからうかがえました。

観光客が多く来るところが連携するために組織が発足、あくまでお客様目線での取り組みであることが重要とのことでした。

現在でも 2 次交通の確保や閑散期の誘客の取り組みなど、マーケティングの結果を受けての事業化がすすめられています。

観光拠点中心市街地の活性化を目的としたフラノマルシェ事業も効果をあげています。



数々の詳細なデータに基づき方向性を考えていく姿勢やシャッター通りができると住民が地元を誇りを持ってなくなってしまうという危機感を持つことなど、鷹栖町の観光施策の効果を考える際に参考にしていきたいと考えます。

先進的な議会改革の取り組み

芽室町 議会

北海道の東、十勝平野のほぼ中心に位置し、帯広市などに隣接。
人口 18,809 人（平成 29 年 3 月末現在）で、全道 3 番目に年少人口率が高い町でもある。

議員数は 16 名。議会基本条例、政治倫理条例、議会会議条例を制定し、平成 25 年からは通年議会を導入しています。

また、政策形成サイクルの導入、議員の自己評価、各種審議会委員の全廃、災害時対応基本計画の策定など先進的な取り組みを行っています。

事務局は職員 3 名、臨時職員 1 名の充実した体制で議会のスムーズな運営を支えています。（鷹栖町は職員 2 名）。

本会議等の会議実施回数は 153 回、議会活性化計画書は 250 ページにわたるなど、多大な時間と労力をかけて議会活性化を行っています。



鷹栖町でも基本条例や倫理条例の制定が検討され、今期は見送ることになりましたが、条例の制定をしなくても取り入れられることも多くあります。

どの部分を実施できるかなどを踏まえて、議会活性化に邁進していきます。

上川管内町村議会議員研修会

平成29年10月24日（火）たかすメロディーホール



「いつなる？」
今後の日本政治」

講師 政治評論家

有馬 晴海 氏

有馬氏は、国会議員秘書を経て、1996年に政治評論家として独立。民放テレビ番組での解説のほか、著書も多数。研修会直前に行われた第48回衆議院議員選挙の総括的な評価と今後の政治の動向について、豊富な人脈を持つ有馬氏ならではの視点で、裏話を交えながら解説されました。

「教育の
今日的課題について」

講師 上川教育局長

中島 康則 氏

公立小中学校の児童生徒数が減少していく中で、公立小中学校の適正規模、配置について検討が必要となっている。学校と地域がどうんな子どもを育てるか話し合う機会を設け、地域人材の参画を促進し、小規模校で不足しがちな社会性を養う工夫をして欲しいと語られています。



第5回臨時会

11月27日に開催された臨時会において、専決処分の承認、条例の改正及び一般会計補正予算について審議し、可決しました。

■専決処分の承認

10月22日衆議院議員選挙執行に伴う予算の補正です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計	424万8000円	55億8793万円	55億9217万8000円
総務費	424万8000円	衆議院議員選挙に関わる経費	

■鷹栖町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

人事院勧告に基づき、鷹栖町職員等の給与の改正をするものです。

■平成29年度鷹栖町一般会計補正予算（第6号）について

議員の期末手当支給率の改正に伴い、不足する予算額を増額しました。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計	22万6000円	55億9217万8000円	55億9240万4000円
総務費	22万6000円	議員期末手当支給率の改定に伴い、不足する予算の増額	

議会のうごき

2017.11.1~2018.1.31

●全体

- ・第5回議会臨時会 11月27日
- ・議員協議会 11月27日・1月31日
- ・第4回議会定例会 12月17・18日
- ・第1回議会臨時会 1月31日

●総務文教常任委員会

- ・委員会 11月27日・12月5日・1月31日

●経済福祉常任委員会

- ・委員会 12月4日・1月31日

●広報広聴常任委員会

- ・委員会 12月17・28日
1月16日・22日

●議会運営委員会

- ・委員会 12月7日

●議会活性化委員会

- ・役員会 12月28日・1月19日

●議会議員定数等調査特別委員会

- ・委員会 11月27日

モニターのみなさんからの意見

一般質問の議員の写真是あんなに大きくなくても良いのでは。

154号以前に比べると小さめにしています。議員の顔が見えることも重要と考えていますが、他町議会報なども参考に文章とのバランスなど検討します。

鷹栖町にあるお店や老人施設の紹介をしたり、年間行事予定表のようなものを載せたりしては。

現在の掲載内容は議場での議論が中心になっていますが、議題に関係する場合はそのような紹介もできると思います。議会の予定はおおむね1か月前に決まることが多く、年間予定表の作成は困難です。

北野地区に新規開業した飲食店「ビストロピース」の写真は、外観だと何だか分からない。

分かりやすい写真を心がけます。

決算認定質疑の話題ごとに線で囲っているのが見やすかった。一般質問も横書きだとどうなるのか見比べてみたい。

枠を作り、他のページとの区別をつけてみました。一般質問のページを横書きにすることは考えたことはありませんでしたが、どうなるか試してみたいと思います（紙面に反映されるかどうかは分かりません）。

わたしの一言に、高校生を含む若い人たちも取り上げて良いと思う。

議員が知人に原稿をお願いしています。高校生などの若い知り合いが少ない現状ですので、もしも書いていただけたらという方は事務局にご連絡いただければ幸いです。

決算認定質疑の質問に対して答えが噛み合っていないのでは。

議場ではその場でやりとりしていることもあり、直接的な答弁になっていないものもあります。

お知らせ

次回定例会は新年度予算の審議があります。

平成30年第1回鷹栖町議会定例会

平成30年3月9日(金)～3月15日(木)(10、11、14日は休会)

(予定は変更となる場合があります。)

多くの方の傍聴をお待ちしております。
近くなりましたら改めてチラシなどでお知らせいたします。

【お詫びと訂正】

孔雀草168号表紙で仲村議員と表記しましたが、正しくは中村議員です。
お詫びして訂正いたします。



もり かわ もも え
森川 百枝さん
(北野・北野東町内会)

「私の思い」

先日、老人会の行事の中に保育園で園児達と昔遊びをする機会がありました。あやとり、お手玉、紙ふうせん等、園児達は昔遊びに目を輝かせて挑戦していました。本当に、子供達に元気をもらい、楽しい時間を過ごさせてもらいました。それにしても、今の時代の進歩の早さには目を見張るものがあります。先日回転寿司に行くと、ロボットが、「何名様ご案内します」と言っていました。また、東京の孫が出産のため帰っていき、ひとりごとを言っているのが覗いてみると、スマホで家族とテレ

ビ電話をしていました。この間テレビでは、スマホをかざせばレジを通さずにお買物ができたり、持ち主を認識するバイクがあり、自動運転する車等、驚く事ばかり。世の中、どんなに進歩しても可愛い園児達が大人になった頃、笑顔で暮らせる、そんな時代であってほしいものです。私は終戦を1年生で迎えました。食料品がままならず、油、砂糖が全然足りなくて、主食は麦、いも、かぼちゃとお米が少し入った麦飯でした。あんな思いは二度としたくありません。

■ わたしの一言 ■

「立ち上がれ 青年たち！」

私は2年半前まで商工会青年部長を6年間務めておりました。現在はひっそりと本業に勤しんでおりますが、何か思うところを書いてくれとの依頼がありましたので、筆禍事件を起こさない程度に書かせていただきます。

鷹栖のイメージは「活発に色々な事をやっている町」と他町の青年部長や、本業のお客様によく言われました。確かに祭りのイベントだけでも、春のさくらフェスタから熱夏フェスタ、秋の大収穫祭とあります(これ全てに関わっている身としては慌ただしくて堪りませんが(笑))ただ、

様々なイベントに関わってきて感じたのは、役場職員の方々が主体となっていて、主催団体が頼り切っていると感じました。(勿論、主催団体が主体となって作り上げている素晴らしいイベントもありますよ!) 主催団体がもっと自立していくような仕組みを作れないものか...役場・商工会・両農協の若手達が垣根なく交流できる機会を持てると良いですね。各青年団体の皆さん、将来に向けて何か統一の団体なんて作ってみてはいかがでしょうか?



はま おか りゅう いち
浜岡 隆一さん
(北野・シンフォニー町内会)

くじやくそう クイズ

次の問題に答えよう

○に当てはまる言葉を入れてください。

問 1. 鷹栖町の体育施設は平成30年から○○○○○制度の導入を予定。

問 2. 第4回定例会で○○○○○の満額交付を求める意見書を提出しました。

問 3. 平成30年4月から国民健康保険が○○○○○化されます。



ヒント この議会だより「孔雀草」の中に答えがあるので、探してみてください。

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。

《応募方法》

クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。孔雀草を読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えいただければ幸いです。全問正解者の中から抽選で3名の方に商品券1,000円分をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。) 前回は6名の方にご応募いただきました。ありがとうございました。

《あて先》

〒071-1292
鷹栖町南1条3丁目 議会事務局 宛
FAX 0166-87-2196
✉ gikai@town.takasu.lg.jp

《しめきり》

平成30年2月28日(水) 消印有効